

令和5年度 調布市立神代中学校 学校評価報告書 (学校長 生野 まゆみ)

学校の教育目標	
● (1) 自ら学び、考える人になろう	▲ (2) 礼節を重んじ、思いやりのある人になろう
■ (3) 骨身を惜しまず、働く人になろう	◆ (4) 体を鍛え、健康な人になろう
目指す学校像 (ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
● (1) 「生きる力」を育て、個を伸ばす学校	▲ (2) 生命をいつくしみ、人の尊厳を重んじる心を育てる学校
■ (3) 社会奉仕の精神を養う学校	◆ (4) 安全で安心な学校

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>						
1 ●豊かな心 (徳)		2 ▲確かな学力 (知)		3 ■健やかな体 (体)		
自己評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価
	①人権尊重教育に関する教職員の校内研修, 及び生徒の活動を学期に1回以上実施	A	①合理的配慮, 個別最適な学びについて特別支援校内委員会で協議し実践する(毎週)	A	①体育祭の取組では, 責任感や連帯感の涵養, 体力の向上などに資するような活動を行う(1学期)	A
	②ふれあい月間(3回), いのちと心の教育月間(1回), 道徳授業地区公開講座(1回)では, 全校体制で取組を工夫する	A	②全教員がICTを活用した授業を実施する(各学期10回以上)	B	②安全で安心な社会づくりに参加し貢献できるような資質・能力を育成する(月1回)	A
	(2) 成果 (数値目標に対して)	評価	(2) 成果 (数値目標に対して)	評価	(2) 成果 (数値目標に対して)	評価
	数値目標「学校評価アンケートで関連項目の肯定的回答80%以上」に対し, 84%と+4ポイントの結果であった。	A	数値目標「学校評価アンケートで関連項目の肯定的回答80%以上」に対し, 81%と+1ポイントの結果であった。	B	数値目標「学校評価アンケートで関連項目の肯定的回答80%以上」に対し, 86%と+6ポイントの結果であった。	A
学校関係者評価	「自分のことも他の人のことも大切にしている」という問いについては, 肯定的回答が90%を超えた。学校教育全体をとおして行う人権教育と, 人権尊重教育推進校としての取組が重なることで, その成果が一層大きく表れている。		合理的な配慮については, 肯定的回答が教職員95.5%, 生徒77.1%, 保護者66.2%と, 差があった。配慮という意味のとらえ方について共通理解が必要である。ICTでは, 活用はしているがさらに生徒が有効活用する場面を増す必要がある		体育祭は, 学校行事としての目的の達成度が高かった。安全指導では, 安全教育プログラムに沿って意図的・計画的な指導を行っている。また, 避難訓練では様々な状況設定で実施することで, 教職員の対応力の向上にもつながっている。自転車通学にかかわる安全指導は, 日常的・定期的な実施に加え臨時にも行い, 事故防止につながる取組となっている。	
4 ▼保護者・地域との連携			5 ■社会の一員として活躍する生徒			
自己評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価
	①学校だより(月1回以上発行), HP(月5回以上更新)等の活用, 保護者会のハイブリッド化で開かれた学校を目指す	A	①学校2020レガシーとして「ボランティアマインド」「障害者理解」に主体的に取り組む(各学年1)	A		
	②ボランティア活動等で保護者・地域との連携を図る体験活動を実施する(1回以上)	B				
	(2) 成果 (数値目標に対して)	評価	(2) 成果 (数値目標に対して)	評価	(2) 成果 (数値目標に対して)	評価
	数値目標「学校評価アンケートで関連項目の肯定的回答80%以上」に対し, 81%と+1ポイントの結果であった。	B	数値目標「学校評価アンケートで関連項目の肯定的回答80%以上」に対し, 74%と-6ポイントの結果であった。	B		
学校関係者評価	学校だよりは月2回のペースで発行した。メールで発行の通知をしたことで, 多くの保護者にご覧いただいた。保護者会等のハイブリット化も好評であった。保護者・地域との連携では校内美化活動, 夏祭り, 地域の防災訓練・文化祭・ロードレース等への参加があったが, 広報活動に課題が残った。		アンケートでは「わからない」と回答した割合が12%と, 1~5の中で最も多かった。社会の一員として自覚を高めているかどうかは見取りが難しい。学校での取組をとおして, 生徒が得た学びを保護者に伝わるよう工夫が必要である。			

人材育成・組織運営		
自己評価	【人材育成】学校に求められる様々な対応について, 運営委員会, 職員会議等で協議し研修を重ねている。 【組織運営】学校に関わる全ての者がチームの一員であるという意識を共有し, 不易流行の精神のもとで学校教育を推進した。	
学校関係者評価	学校運営という面で, PTAの支援・協力が大変大きかった。PTAへの加入, 役員選出, 学校へのかかわり方など全てにおいて保護者の意思を尊重する方針に多くの賛同が寄せられ, 保護者と学校の友好関係を築いていただいた。地域学校協働本部のステップルーム運営では, 長く学校を休んでいたたり, 教室に入りにくくなっていたりする生徒の居場所や自主学習の機会を提供し, 生徒の自立につながる手助けをしていただいた。チーム学校が機能している。	
中期的な経営目標の達成状況		
1 豊かな心 (徳) 84%	2 確かな学力 81% (知)	3 健やかな体 (体) 86%
4 保護者・地域との連携 81%	5 社会の一員として活躍する生徒 74%	
次年度の重点課題		
東京都教育委員会人権尊重教育推進校として, 「1 豊かな心 (徳)」を重点課題とし, 自分のことも他の人のことも大切にできる生徒の育成を目指す。		